

# あさか開成高等学校創立 20 周年記念式典

## 福島県高等学校長協会長祝辞

平成 27 年 10 月 17 日（土） 13 時  
あさか開成高等学校 第一体育館

ただいま御紹介いただきました、福島県高等学校長協会会長を務めております安積高等学校長の久保田範夫でございます。県高等学校長協会を代表いたしまして、お祝いの言葉を申し述べます。

あさか開成高等学校の創立 20 周年を心からお祝い申し上げます。

また、本日、感謝状・表彰状を受賞された皆様に、重ねてお祝い申し上げます。

（奇しくも、本日 10 時から光南高校も 20 周年を祝いました。）

さて、私は新採用の只見高校時代から現在まで、新たに赴任した学校では真っ先に校歌を覚え歌えるように心がけてきました。それは、校歌の歌詞にその学校の創立以来の精神や校訓、スピリットが込められていることが多いからであり、また、校歌を歌うことによってその学校と生徒を好きになれるからであります。

本校創立の年、平成 8（1996）年に制定された校歌を拝見すると、本校の校訓である「Global Spirits（国際性豊かな人間）、Creative Spirits（創造性豊かな人間）、Human Spirits（心豊かな人間）」が読み込まれ、**県内初の単位制課程国際科学科を持つ新生あさか開成高校に相応しい校歌になっている**と思います。

さて、私たちは（民法第 4 条「年齢二十歳をもって、成年とする。」によって）生まれて 20 年の年月を経て大人と認められるわけですが、本校が誕生した今から 20 年前はどのような年だったのでしょうか。平成 8 年、長嶋茂雄さんの「メークドラマ」やマラソンの有森裕子選手の「自分で自分を褒めたい」が流行語となり、アトランタオリンピックが開催されたこの年、国内初の検索サイト Yahoo!JAPAN がサービスを開始、国内のウェブサイトが翌年にかけて推定で 9 倍に増加し、更にデジタル化した携帯電話や PHS の契約者数が急増したのがこの年でした。その 1 年前の平成 7（1995）年には、パソコンのオペレーションシステム Windows95 が発売された、まさにネットワーク時代の幕開けといってもいい象徴的な年だったのですが、その時点で現在のようなネット社会を正確に予測していた人が何人いたのでしょうか。

本校創立の 5 年後に 21 世紀を迎えたわけですが、私たちの生きている時代は、もの凄いスピードで変化を続け、その流れは、ますます早くなっています。高校教育について言えば、近年の国による教育改革の動き、とりわけ大学入試改革と

高等学校教育改革に関する動きからは目が離せない状況にあります。昨年12月の中央教育審議会答申以降、実行プランが策定され、様々な提言が矢継ぎ早に出ています。現在の中学1年生が、高校2年生になった段階で「高等学校基礎学力テスト」が始まり、高校3年生で現在の大学入試センター試験に代わる「大学入学希望者学力評価テスト」を受験することになるスケジュールが想定され、高大接続を含め、高校・大学の教育改革を一体的に進める国の教育改革の流れは、今までになく急ピッチで進んでいます。

このように、もの凄い早さで流れていくグローバル社会を私たちは生き抜いていかなければなりません。その意味で「国際科学科」という学科を持つ本校の生徒は、普通科など他の学科で学ぶ生徒たちよりも、より早い段階でグローバル社会を生きるスキルの基礎を身につけることができると考えます。「国際」という名称の学科を持つ高校の多くは、英語に重点を置くカリキュラムを組んでいます。本校においては、スペイン語やハングルなど、英語以外の「西洋の語学」と「東洋の語学」をも学ぶことができます。

また、部活動やボランティア活動における本校の生徒の活躍、例えば、読み聞かせやよさこい・フラダンスなどは、しばしば新聞等マスコミに取り上げられているのでご存じの方も多いと思いますが、私が最近感銘を受けたのは「外国語会話部」がアメリカの高校生との交流を深め、日米大使館、文部科学省の後援を得て、ワシントンDCを本拠地にするNPO団体Kizuna Across Culturesが主催する、2015日米高校交流ビデオ甲子園に応募して日米総合最優秀に輝いたことです。私もKACのホームページで作品を見ましたが、「日本の文化について、Our pride 日本の誇れることについて」というテーマで、「bow 礼とは何か」を扱っています。実際の高校生活の様々な場面を捉えて、礼とは「敬い」「尊敬」「感謝」「いたわり」「忍耐」であること、そして「礼に始まり礼に終わる」と締めくくっています。

グローバル化、国際化の時代を生きていく私たちが忘れてはいけない日本文化にしっかりと目を向けた作品であり、日本語・日本文化の理解と体得というしっかりした土台があって、始めて国際交流・国際化が成り立つのだと考えます。

本校の卒業生は3,500名余を数え、国内外の様々な分野で活躍していると伺っていますが、その先輩の方々や地域の皆さんが見守ってくれています。何よりも面倒見のよい先生方が皆さんを導いてくれるはずです。

最後になりますが、あさか開成高校の生徒の皆さん、皆さんがGlobal Spirits（国際性）、Creative Spirits（創造性）、そしてHuman Spirits（豊かな心）を身につけ、仲間と共に、新たな21世紀の地図帳の中の日本と世界に、確かなしっかりした足跡を描いていくことを確信しております。

また、30周年、50周年、更にその先へ向けた、あさか開成高等学校の益々の発展をお祈り申し上げ、私のお祝いの言葉といたします。

本日は誠におめでとうございます。

あさか開成高校校歌

- 一 新しい地図帳に 描こうよ われらの航路  
夢とコンパス持って 大地と海越えて  
**Our Global Spirits              Our Global Spirits**  
今 思い切り生きるために  
進みゆく あさか開成高校
- 二 新しい地平線に 広げようよ われらの翼  
ペンとあこがれ持って 正義と微笑み連れて  
**Our Creative Spirits              Our Creative Spirits**  
今 思い切り翔ぶために  
高め合う あさか開成高校
- 三 新しい血潮熱く 伝えようよ われらの仲間  
明日の青空見据え 勇気の声高らかに  
**Our Human Spirits              Our Human Spirits**  
今 思い切り実るために  
築きゆく あさか開成高校